

氏名	大 同 茂
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2853 号
学位授与の日付	平成17年3月25日
学位授与の要件	医学研究科外科系脳神経外科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Loss of heterozygosity on chromosome 10q associated with malignancy and prognosis in astrocytic tumors, and discovery of novel loss regions (星状細胞腫において悪性度と予後に関連する10番染色体長腕ヘテロ接合性消失の検討、および新たな欠失部位の発見)
論文審査委員	教授 筒井公子 教授 許 南浩 助教授 東海林幹夫

学位論文内容の要旨

Astrocytic tumor には様々な遺伝子異常が報告されている。特に 10 番染色体長腕 (10q) の loss of heterozygosity (LOH) は多く報告されており、この部位には様々な腫瘍抑制遺伝子の存在も示唆されている。我々は astrocytic tumor の悪性度と 10 番染色体長腕遺伝子異常との関係を検討した。対象は astrocytic tumor 63 例で、摘出腫瘍標本より DNA を抽出し、18 カ所のマイクロサテライトマーカに対して LOH 解析を行い、種々の予後関連因子との関係を統計学的に検討した。LOH は malignant astrocytoma (grade III, IV) にのみ認め、LOH を認める範囲が広範なほど予後は不良であった。10q LOH は astrocytic tumor の悪性化に関与し、この部位の腫瘍抑制遺伝子は複数存在することが示唆された。また、新たな腫瘍抑制遺伝子の存在も示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究はヒト 10 番染色体長腕の loss of heterozygosity (LOH) と astrocytic tumor の悪性度との関係を 18 カ所のマイクロサテライトマーカに対する LOH 解析により調べたものである。63 例の摘出腫瘍標本で、LOH は malignant astrocytoma (grade III, IV) にのみ認められ、LOH を認める範囲が広範なほど予後が不良であった。10 番染色体長腕の LOH は astrocytic tumor の悪性化に関与し、手術後の予後判定に有用であることを示唆する価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。